

株式会社SDSホールディングス

# 2025年3月期 通期 決算説明資料

東証スタンダード市場（証券コード：1711）

2025年7月10日

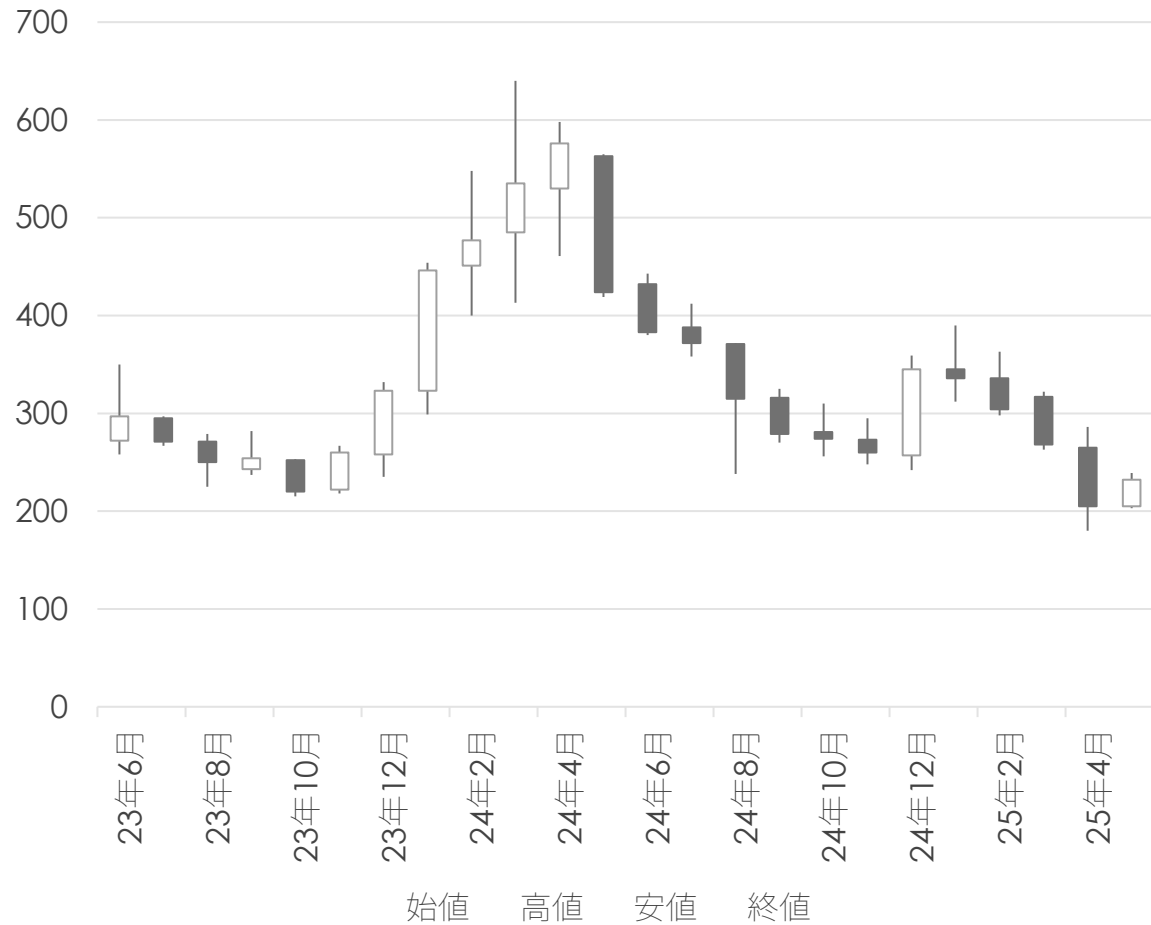
# INDEX

1. SDSホールディングスの株価と信用買い残の推移
2. 中期的な業績の推移
3. 2025年3月期連結業績および今期見通し
4. SDSグループの構成
5. 省エネ事業のパイオニアとして、様々な事業展開へ
6. 株式会社省電舎の業績推移と今期予想
7. 太陽光発電事業を成長ステージへ
8. 不動産業界におけるニッチソリューション
9. リノベーション再販事業で、住宅をよりサステナブルなものに
10. 株式会社イエローキャピタル・オーケストラの業績推移と今期予想
11. 2030年の温室効果ガス削減目標達成に向け、ラストスパートがかかる
12. 次の成長戦略へ、グループ力を総合的に活かす「リノベストメント事業」
13. 中小企業の深刻な後継者不在状況と廃業の増加
14. TAKARA AIとの提携を活用した効果的・スピーディーなAIソリューション

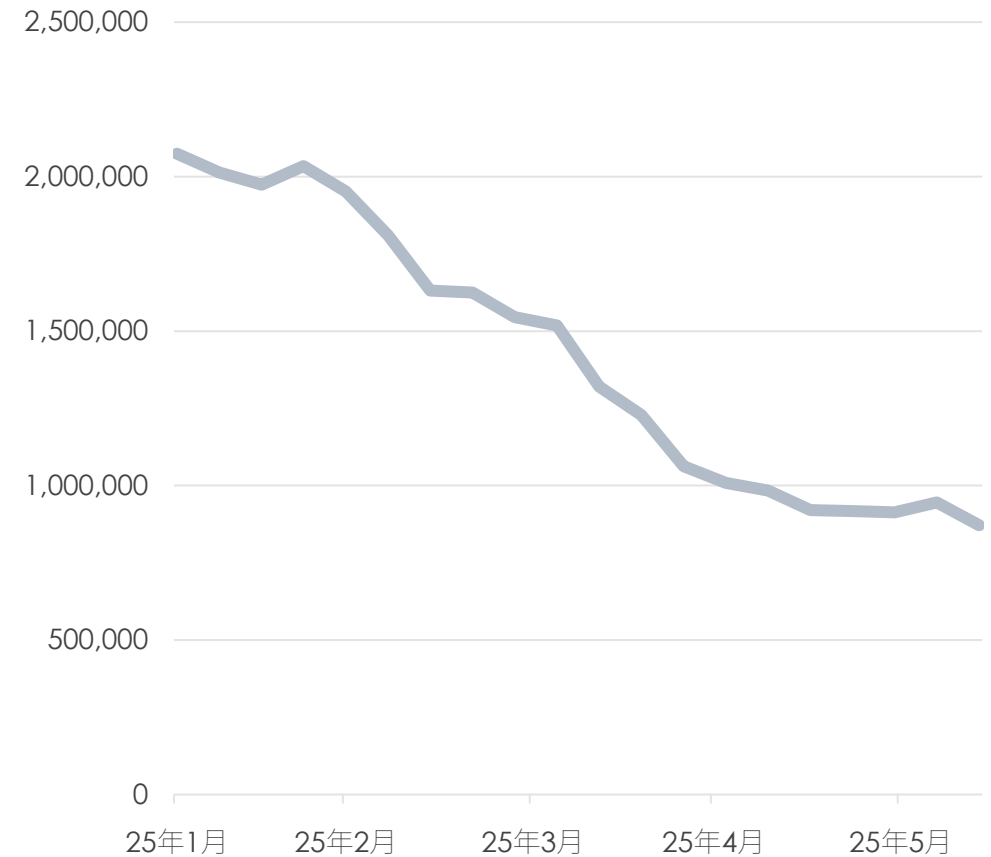
# 1. SDSホールディングスの株価と信用買い残の推移

2024年3月には株価は600円を超えていたが、現在は200円台まで下落。  
直近の信用買い残は減少しており、需給関係は改善。

株価の推移

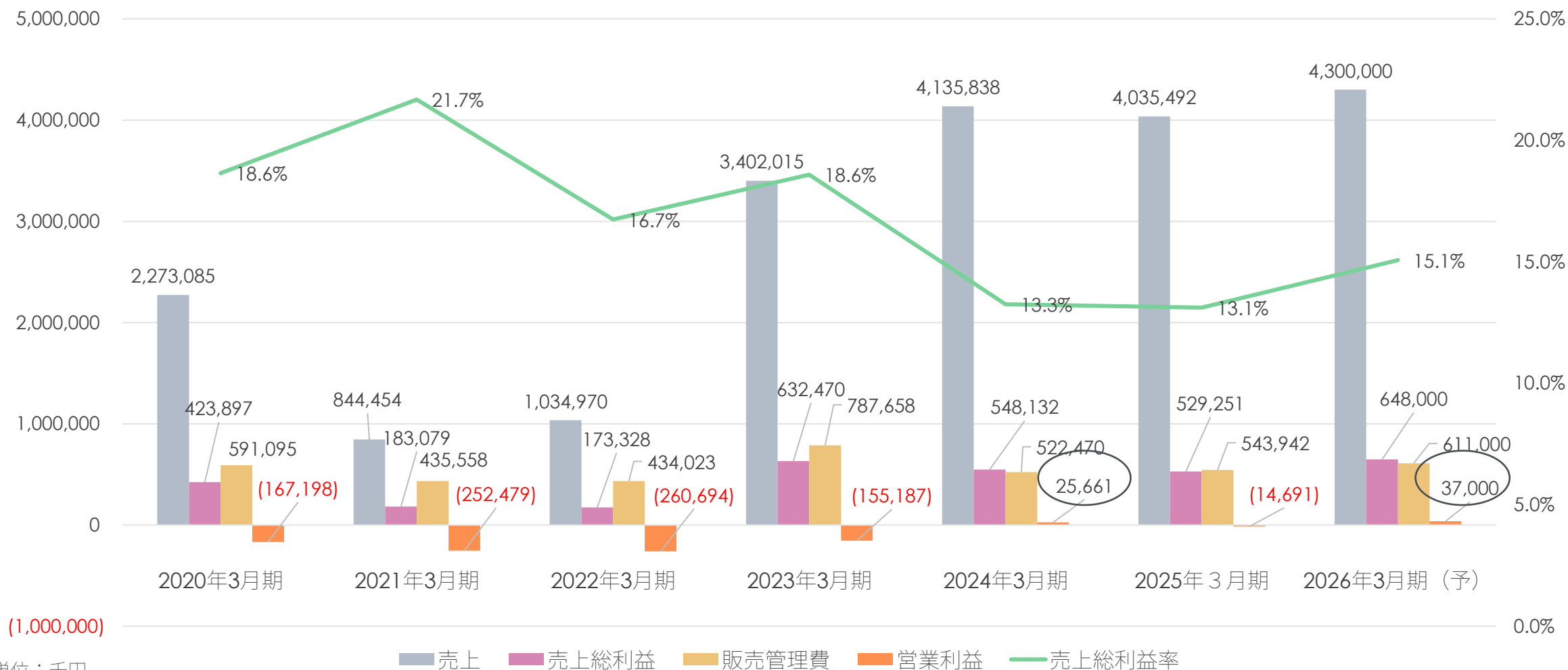


信用買い残



## 2. 中期的な業績の推移

2024年3月期に営業黒字を達成。2025年3月期は期末の案件が、今期にズレ込んだため営業赤字に転落したが、今期（2026年3月期）は再び営業黒字を回復する見込み。



### 3. 2025年3月期連結業績および今期見通し

2024年3月期に営業黒字を達成。2025年3月期は期末の案件が、今期にズレ込んだため営業赤字に転落したが、今期（2026年3月期）は再び営業黒字を回復する見込み。

| (単位：千円)             | 2024年3月期  |         | 2025年3月期  |         | 対前年比   | 2026年3月期<br>(予) | 売上比<br>(予) | 対前年比<br>(予) |
|---------------------|-----------|---------|-----------|---------|--------|-----------------|------------|-------------|
| 売上高                 | 4,135,838 | 100.00% | 4,035,492 | 100.00% | -2.43% | 4,300,000       | 100.00%    | 6.55%       |
| 売上総利益               | 548,132   | 13.25%  | 529,251   | 13.11%  | -3.44% | 648,000         | 15.07%     | 22.44%      |
| 売上総利益率              | 13.25%    |         | 13.11%    |         | -1.04% | 15.07%          | —          | 1.95%       |
| 販売管理費               | 522,470   | 12.63%  | 543,942   | 13.48%  | 4.11%  | 611,000         | 14.21%     | 12.33%      |
| 売上販売管理費率            | 12.63%    |         | 13.48%    |         | 0.85%  | 14.21%          | —          | 0.73%       |
| 営業利益                | 25,661    | 0.62%   | -14,691   | -0.36%  |        | 37,000          | 0.86%      | 黒字化         |
| 経常利益                | -51,085   | -1.24%  | -97,208   | -2.41%  |        | -50,000         | —          | —           |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | -105,390  | -2.55%  | -151,714  | -3.76%  |        | -90,000         | —          | —           |
| 総資産                 | 3,790,177 |         | 4,705,055 |         | 24.14% |                 | —          | —           |
| 自己資本                | 667,218   |         | 606,934   |         | -9.04% |                 | —          | —           |
| 自己資本比率              | 17.60%    |         | 12.90%    |         | -4.70% |                 | —          | —           |

## 4. SDSグループの構成

### SDSホールディングス (持ち株会社)

#### 省電舎

省エネ・環境ソリューションを企業向けに提供しています。  
日本を代表するような大企業から、地方の会社様まで、電力コストの削減・温室効果ガスの排出量削減のサービスに対応しています。

| (単位：千円) | 2025年3月期 |
|---------|----------|
| 売上      | 674,845  |
| 営業利益    | 49,461   |
| 経常利益    | 52,464   |

#### ONE EXE

太陽光発電所（メガソーラー）を保有し、売電収入を得ています。  
メガソーラーを保有するのは、グループ内では**ONE EXE**だけですが、低圧太陽光発電所を、今期までに**12**施設、買い付けています。

| (単位：千円) | 2025年3月期 |
|---------|----------|
| 売上      | 19,161   |
| 営業利益    | 2,877    |
| 経常利益    | -10,010  |

#### イエローキャピタル・オーケストラ

中古の区分所有マンションをリノベーションし、再販しています。  
個人向けにサステナブルな住環境の提供を行う会社です。

| (単位：千円) | 2025年3月期  |
|---------|-----------|
| 売上      | 3,345,865 |
| 営業利益    | 157,614   |
| 経常利益    | 79,607    |

## 5. 省エネ事業のパイオニアとして、様々な事業展開へ

### 顧客ニーズ

- ✓ コスト削減
- ✓ 防災対策
- ✓ **HACCP**  
導入支援

### 当社サービス

- ✓ **CO2**排出量  
削減提案
- ✓ 設備の強化  
防災システム導入
- ✓ 安心安全な  
衛生設備の構築

### 社会貢献

- ✓ 持続可能な  
社会へ
- ✓ 災害に強い  
社会へ
- ✓ 衛生的な  
社会へ



### 総合省エネルギー改修 トータル省エネルギープラン

#### 代表的なエネルギー設備

- ・蛍光灯・照明設備全般、LED化
- ・熱源（冷凍機、ボイラ）
- ・空調設備
- ・動力設備（ファン、ポンプ、コンプレッサ）
- ・生産設備
- ・新エネルギー設備
- ・環境対策



### 防災専用BCP蓄電池

今や災害時に重要な通信手段であるスマートフォン。充電難民を救う防災用蓄電池を提案します。  
防災用に開発された蓄電池で、常時充電することで放電の心配がありません。また、放電深度（限界使用率）を95%に設定しているため、定格容量に近い使用が可能です。



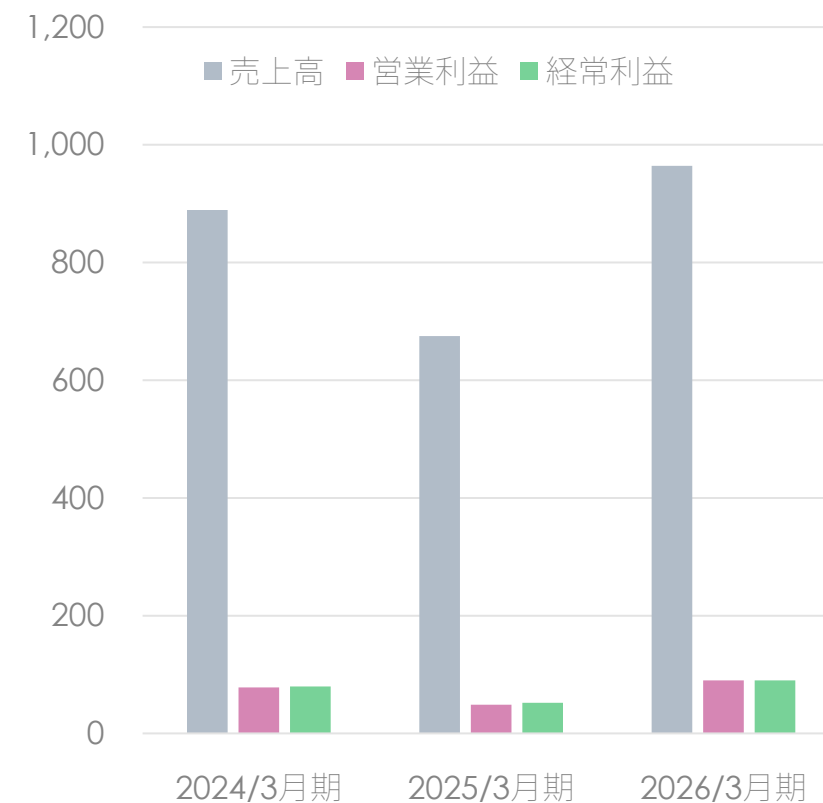
## 6. 株式会社省電舎の業績推移と今期予想

大手企業からの受注増加、2025年3月期の期ズレ要因、原価上昇の落ち着きにより増収増益の予想

### 省電舎ー省エネソリューション事業 過去2期の実績と今期の予想数値

| (単位：千円) | 2024/3月期 | 2025/3月期 | 前期比    | 2026/3月期<br>予想 | 前期比   |
|---------|----------|----------|--------|----------------|-------|
| 売上      | 888,990  | 674,845  | -24.1% | 964,000        | 42.8% |
| 営業利益    | 77,520   | 49,460   | -36.2% | 90,000         | 82.0% |
| 経常利益    | 80,263   | 52,464   | -34.6% | 90,000         | 71.5% |

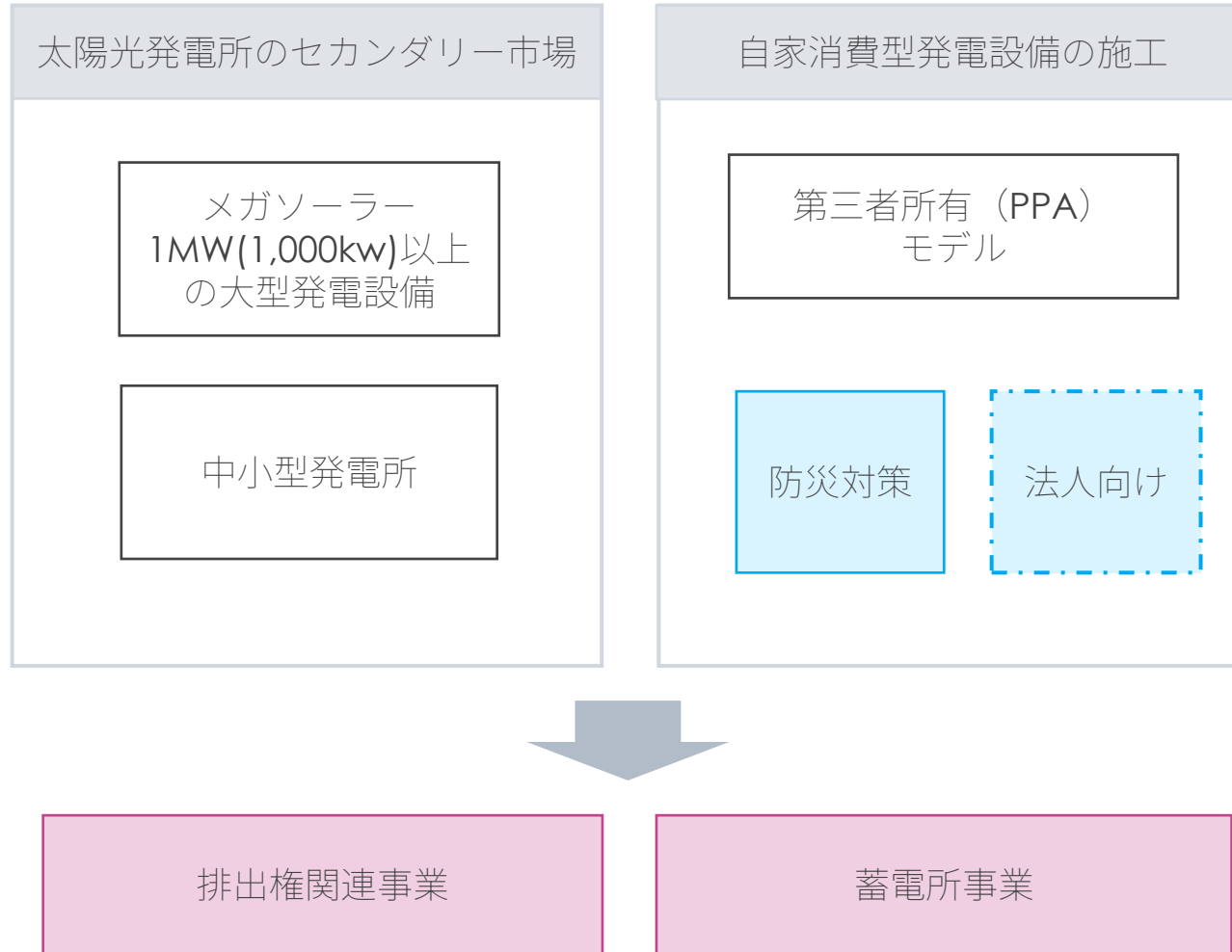
### 過去2期の実績と今期の予想比較





## 7. 太陽光発電事業を成長ステージへ

太陽光発電事業は2033年まで年平均8.2%成長



設備名称

市原市小田部①太陽光発電所

所在地

千葉県市原市小田部字中の作

出力容量

1,000kW

年間予想売電量

約172万kWh

FIT売電単価

26.4円/kWh

### ファミリー向け中古区分マンションのリノベーション再販

新築住宅着工戸数は、駅近など利便性の高い開発適地が限られるため、今後減少していく見込みです。一方で、住宅ストックの増加や、中古住宅需要の高まりによって、中古住宅は流通量増加および更なる市場規模の拡大が予想されています。

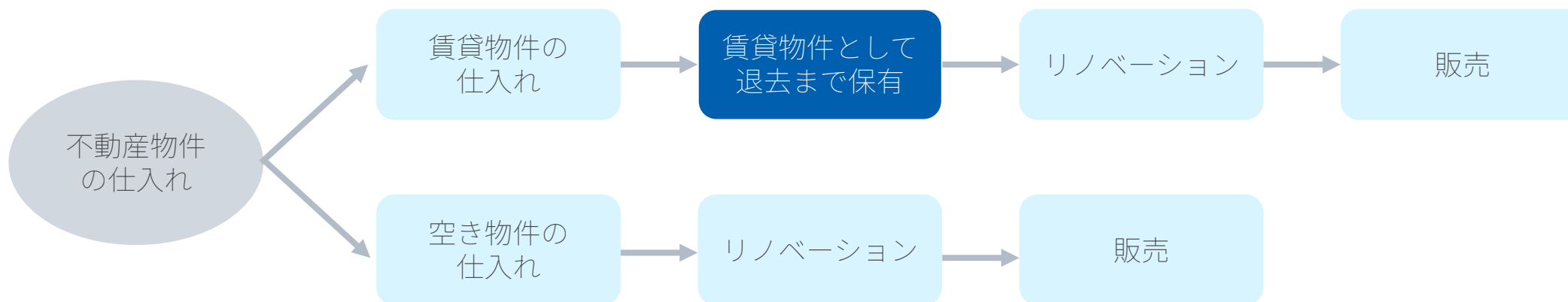
リノベーション住宅市場は、新築住宅と比較して割安である点と環境保全等の観点から、今後も順調に拡大していく見通しです。

### ビジネスモデルの特徴

物件の買取において、空き物件だけでなく、賃借人付きの物件も取得。

賃借人付き物件は賃貸不動産として保有し、退去後にリノベーションを実施し、リノベ物件として販売。  
空き物件の買取と比較し、低コストで物件の取得が可能。また、退去までの期間は賃料収入を収受可能。

➡ 賃料収入と販売売上の双方を収受することで収益が安定。



## 9. リノベーション再販事業で、住宅をよりサステナブルなものに

### 首都圏の中古区分マンションを中心にリノベ再販事業を展開

首都圏のマンション価格の上昇

環境保護等の観点から、中古住宅の流通促進

利便性の高い新築住宅着工戸数の減少

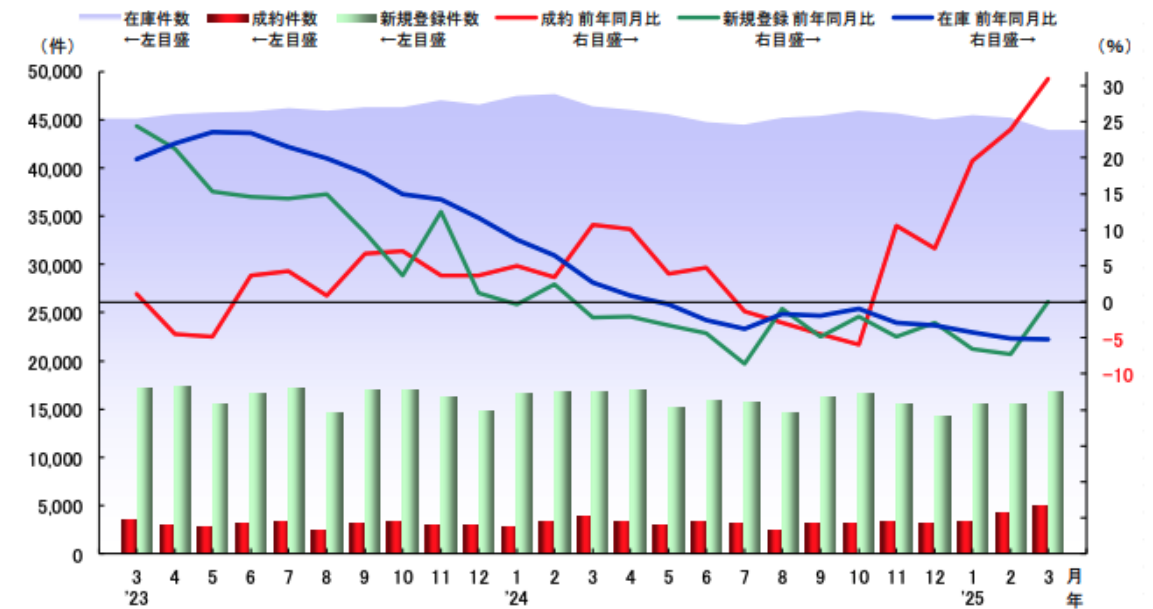
外国人需要

空き家問題

首都圏の中古住宅の流通量の増加や市場規模の拡大が見込まれ、安定した成長路線へ

### 金利上昇懸念拡大を受け、成約数は急増

■首都圏 中古マンション件数の推移



| 中古マンション    | 2024年  |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        | 2025年  |  |  |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--|--|
|            | 3月     | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月     | 10月    | 11月    | 12月    | 1月     | 2月     | 3月     |  |  |
| 成約件数 (件)   | 3,810  | 3,251  | 2,845  | 3,259  | 3,193  | 2,299  | 3,047  | 3,092  | 3,207  | 3,158  | 3,242  | 4,152  | 4,991  |  |  |
| 前年同月比 (%)  | 10.7   | 10.1   | 3.9    | 4.8    | -1.3   | -2.9   | -4.5   | -5.9   | 10.6   | 7.4    | 19.6   | 23.9   | 31.0   |  |  |
| 前月比 (%)    | 13.7   | -14.7  | -12.5  | 14.6   | -2.0   | -28.0  | 32.5   | 1.5    | 3.7    | -1.5   | 2.7    | 28.1   | 20.2   |  |  |
| 新規登録件数 (件) | 16,846 | 16,902 | 15,088 | 15,845 | 15,661 | 14,572 | 16,195 | 16,698 | 15,506 | 14,311 | 15,459 | 15,507 | 16,844 |  |  |
| 前年同月比 (%)  | -2.2   | -2.1   | -3.3   | -4.4   | -8.6   | -0.9   | -4.8   | -2.0   | -4.8   | -2.9   | -6.5   | -7.3   | -0.01  |  |  |
| 前月比 (%)    | 0.7    | 0.3    | -10.7  | 5.0    | -1.2   | -7.0   | 11.1   | 3.1    | -7.1   | -7.7   | 8.0    | 0.3    | 8.6    |  |  |
| 在庫件数 (件)   | 46,351 | 46,027 | 45,603 | 44,722 | 44,509 | 45,192 | 45,403 | 45,888 | 45,646 | 44,981 | 45,478 | 45,214 | 43,941 |  |  |
| 前年同月比 (%)  | 2.7    | 0.9    | -0.4   | -2.5   | -3.7   | -1.7   | -1.9   | -0.9   | -2.9   | -3.3   | -4.2   | -5.1   | -5.2   |  |  |
| 前月比 (%)    | -2.7   | -0.7   | -0.9   | -1.9   | -0.5   | 1.5    | 0.5    | 1.1    | -0.5   | -1.5   | 1.1    | -0.6   | -2.8   |  |  |

※ (公財) 東日本不動産流通機構 2025年3月度サマリーレポートより

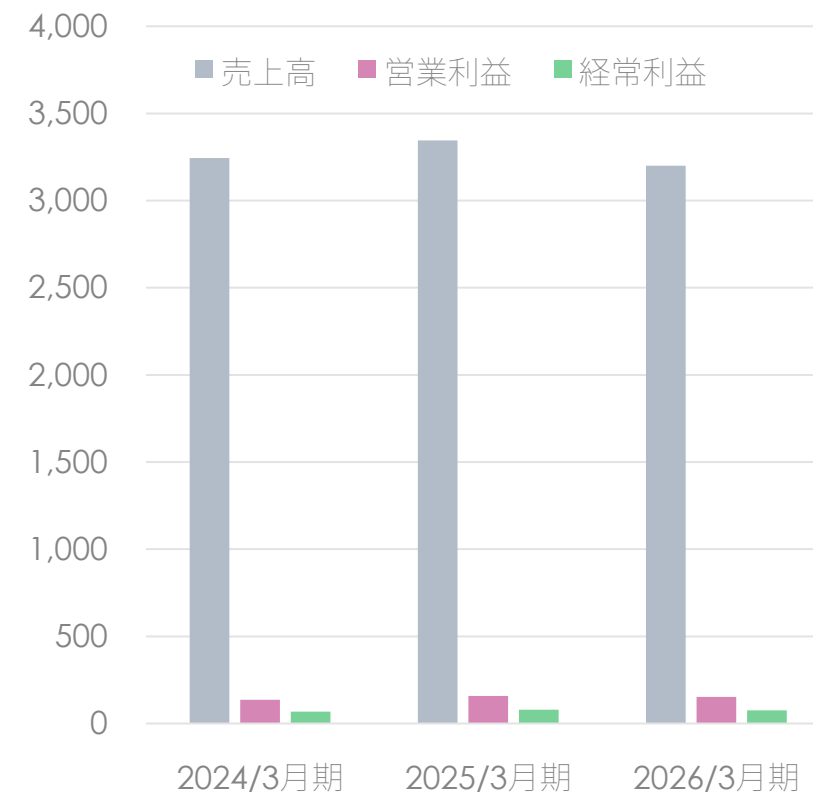
## 10. 株式会社イエローキャピタル・オーケストラの業績推移と今期予想

2025年3月期が非常に好調だったため、全体的に保守的な予想数値に。

### イエローキャピタル・オーケストラ社 過去2期の実績と今期の予想数値

| (単位：千円) | 2024/3月期  | 2025/3月期  | 前期比   | 2026/3月期<br>予想 | 前期比   |
|---------|-----------|-----------|-------|----------------|-------|
| 売上      | 3,245,119 | 3,345,865 | 3.1%  | 3,200,000      | -4.4% |
| 営業利益    | 136,138   | 157,614   | 15.8% | 153,000        | -2.9% |
| 経常利益    | 69,205    | 79,607    | 15.0% | 76,000         | -4.5% |

### 過去2期の実績と今期の予想の比較



## 1 1. 2030年の温室効果ガス削減目標達成に向け、ラストスパートがかかる

**2023年 温室効果ガス削減目標まで、あと5年  
(2013年度比46%削減)**

国や地方公共団体が、温室効果ガスの削減目標達成までのプラン、**2021年10月**「政府実行計画」「地方公共団体実行計画」に基づき、ZEB、太陽光発電設備・蓄電池の導入を促進。取引先大企業では、温室効果ガス削減計画の実行に拍車がかかる。

官民連携契約の枠組みを活用し、地方自治体への提案を強化。取引先グループに対し、省エネ・再エネ双方のノウハウを持つ事業者として、大きな計画への参画にチャレンジする。

**再生可能エネルギー  
競合事業者過多の解消**

太陽光発電関連事業者の減少（**2024年度 倒産8件休業廃業44件**）により、太陽光発電所のセカンダリー案件が増加。太陽光発電所の開発案件の受注増や、優良セカンダリーのディールが可能に。

低圧太陽光発電セカンダリー施設に対して、優良物件を低価格で取得できる案件にチャレンジする

**太陽光発電に対する規制  
運用の強化**

**2024年4月**に再生可能エネルギー特別措置法の改正により、中古の太陽光発電所（高圧・特別高圧）を取得する際、地域住民への説明会の開催が必須となった。規制の強化よりメガソーラーの優良物件の取得に、時間やコストがかかるようになる。

メガソーラーの購入から、比較的規制の強化が緩い低圧太陽光発電への投資に転換。

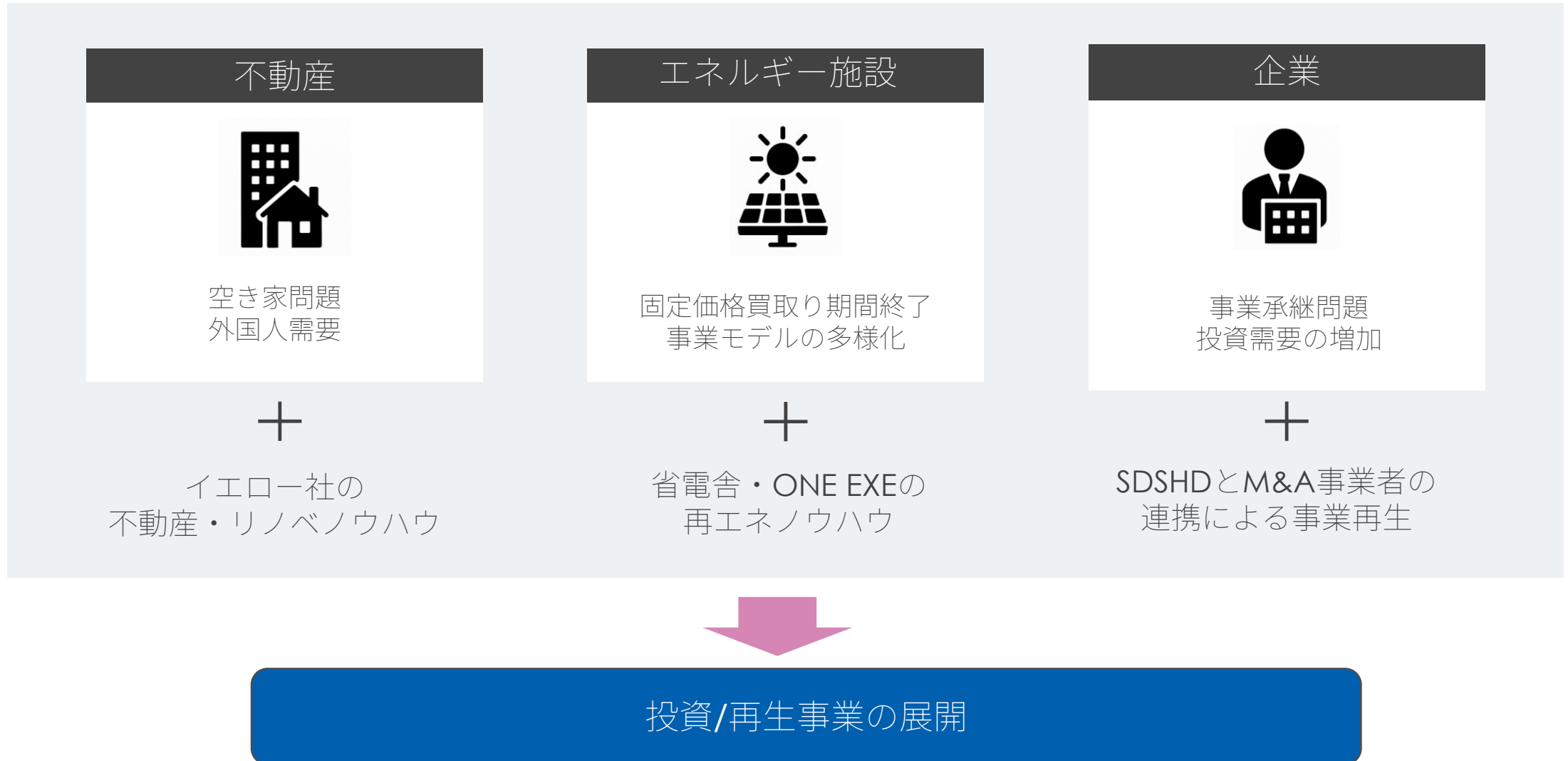
**金利上昇懸念・  
インフレ対応の社会へ**

イエローキャピタルオーケストラ社（中古区分マンションのリノベ再販事業）の顧客の購買意欲変化を注視も。今のところ、首都圏の新築マンションの価格高騰などの影響により、リノベ物件への需要シフトがより進んでいる。

ボリュームゾーンである日本人の平均年収の世帯をターゲットとした物件取得による安定的な収益の確保に加え、外国人需要や富裕層向けの物件を取り扱うことで収益の増加も狙う。

## 1 2. 次の成長戦略へ、グループ力を総合的に活かす「リノベストメント事業」

金融事業者と連携し、当社の持つ不動産・太陽光発電設備に関するノウハウと事業再生を結び付けることで新たなビジネスを展開する

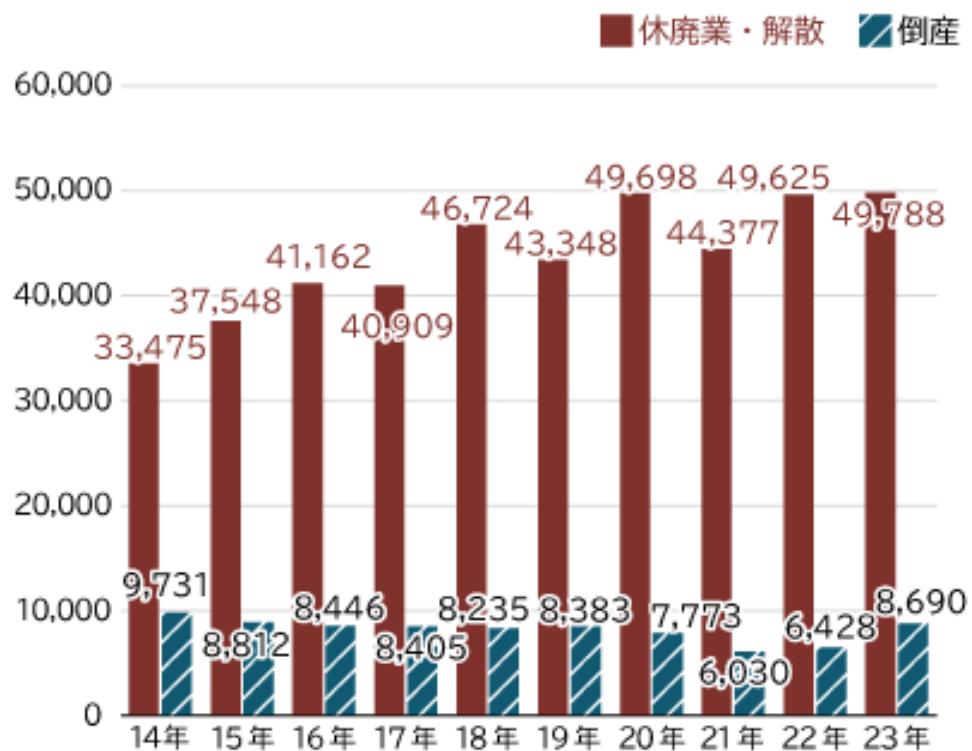




### 1 3. 中小企業の深刻な後継者不在状況と廃業の増加

休廃業・解散件数は  
新型コロナウイルス感染症の影響もあって増加傾向

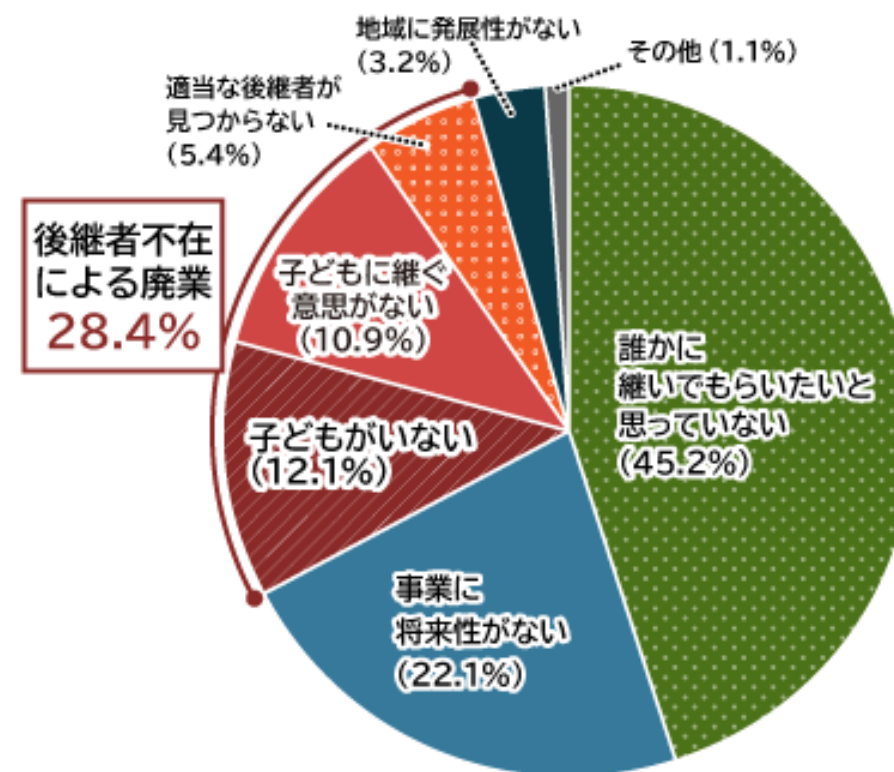
休廃業・解散、倒産件数の年次推移



※中小企業庁HPより

廃業理由の3割が後継者難

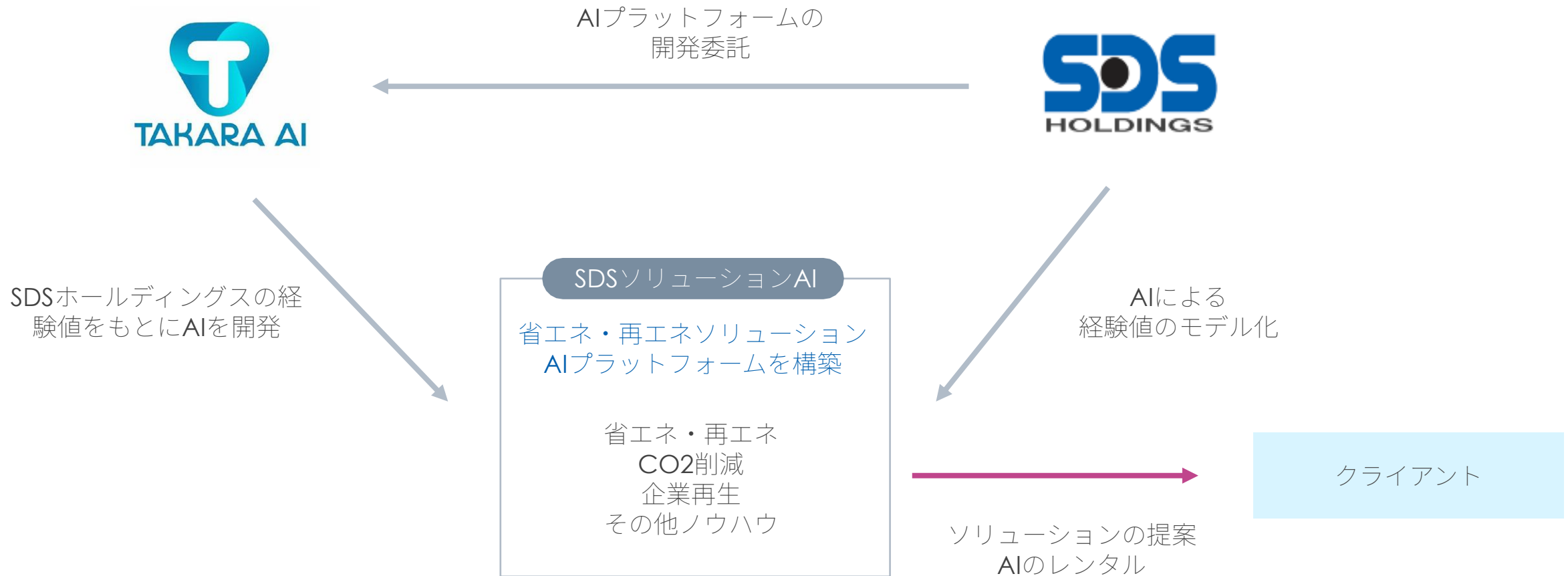
廃業理由(廃業予定企業、2023年)



※中小企業庁HPより

## 1 4. TAKARA AIとの提携を活用した効果的・スピーディーなAIソリューション

SDSホールディングスが保有する、省エネ・再エネ等のノウハウをもとにTAKARA AIがソリューションAIプラットフォームを構築。  
AIを活用してSDSホールディングスのクライアントにソリューションを提案。







本資料は当社に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。本資料は2025年7月10日現在の情報に基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。